

令和7年3月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年3月分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」などが増加したことから、対前年同月比2.6%の増加となった。また、輸入額は「自動車」などが減少したものの、「原粗油」「アルミニウム及び同合金」「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが増加したことから、同15.5%の増加となった。その結果、差引額は8,088億円（同5.9%の減少）となった。

名古屋港における輸出額、輸入額ともに3月として過去最高。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降166カ月（13年10カ月）連続全国港別（空港含む）第1位。

注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

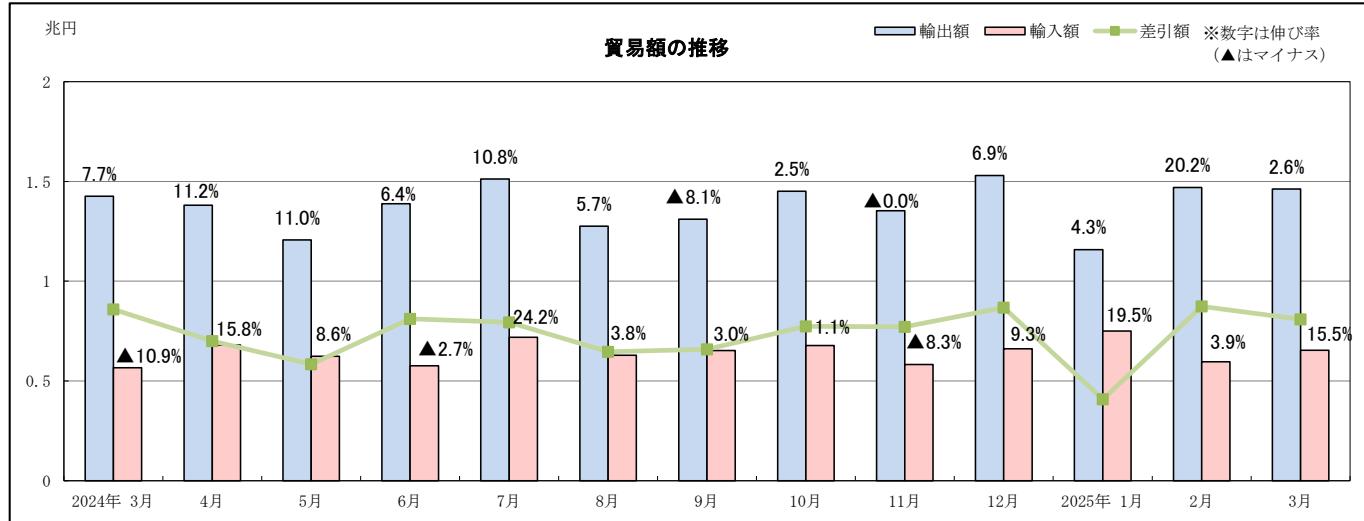
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆4,627億円	+2.6%	6,539億円	+15.5%	8,088億円	▲5.9%
	4カ月連続の増加			4カ月連続の増加		
	順位 過去4位	3月として1位	順位 過去11位	3月として1位	順位 過去6位	3月として2位
管内（名港シェア）	2兆2,542億円 (64.9%)		1兆1,938億円 (54.8%)		1兆0,604億円 (—)	
全国（名港シェア）	9兆8,478億円 (14.9%)		9兆3,038億円 (7.0%)		5,441億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出 増加 (1)	自動車	4,669億円	+11.7%	+3.4	6カ月連続の増加
	自動車の部分品	1,633億円	▲12.6%	▲1.7	2カ月ぶりの減少
輸入 増加 (1)	原粗油	531億円	+58.1%	+3.4	2カ月連続の増加
	アルミニウム及び同合金	340億円	+45.7%	+1.9	5カ月連続の増加
	絶縁電線及び絶縁ケーブル	392億円	+24.6%	+1.4	4カ月連続の増加
減少 (1)	自動車	51億円	▲53.8%	▲1.0	4カ月連続の減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。